

令和 7 年 6 月 10 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 7 年度	
会 社 名	株式会社 傳刀組	
住 所	〒398-0001 長野県大町市平 7 8 4 0 番地	
代 表 者 名	代表取締役 傳刀 宗久	
業 種	製造業 ・ 建設業	
処 理 施 設 所 在 地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地
担 当 部 署	総務部	
担 当 者 名	臼井 貴一	
連 絡 先	T E L	0261-22-0312
	F A X	0261-23-3411
	電子メールアドレス	usui-t@dendo.jp
ホームページアドレス	http://www.dendo.jp	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

本年度は産業廃棄物の発生抑制を最重点項目におき、施行段階においては、数値的に状況を随時確認し、状況が好ましくない場合は、施工方法の見直しをするなどして、目標達成のための継続的な努力を行う。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	7 年度目標値	6 年度実績値	5 年度実績値	4 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	3,523	4,089	2,087	4,396
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	3,115	3,977	2,025	4,337
売上高の推移 (円)	2,000,000,000	1,934,000,000	1,974,000,000	2,323,000,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

計画段階においては、工場での加工および組み立て部品の使用率を高くし、現場発生材等の抑制を図る。

実施段階においては、適正量の発注に努めるとともに、産業廃棄物においては分別を徹底し、リサイクルの向上推進を図る。

・処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合

関係機関へ連絡を行うとともに、状況把握に努め原因究明に協力する。

また、不適正に処理された廃棄物については、原因者に強く要請するが、排出事業者責任として、適切な処理を行う。

・他の不適正処理を発見した場合の協力体制

他の不適正処理に対しても、日頃注意を払うよう社員へ喚起し、不適正と認められる処理現場を発見した場合は、関係機関へ情報提供を行う。

・その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

作業所では、手戻り工事をなくし、余計な資材の投入、余分な廃棄物発生を抑制します。又、地域貢献事業としまして草刈り、ゴミ拾いを実施。

2月13日に行われた Teams による WEB 会議形式の「令和6年度産業廃棄物3R実践講習会」に参加しました。令和6年度 産業廃棄物処理技術等研修会に参加致しました。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	R7年度 目標値	R6年度 実績値	R5年度 実績値	R4年度 実績値
再生砕石	100	100	100	100
再生アスファルト	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100